京都大学大学院
工学研究科附属情報センターニュース
2015年 7月 第28号
工学研究科附属情報センター
075-383-7365 / FAX 7366
www@cit.t.kyoto-u.ac.jp

認証 IC カード・IC 学生証の読み取り / e-Learning の受講について

認証 IC カード・IC 学生証の読み取り

はじめに

京都大学発行の認証 IC カード（または職員証）/IC 学生証[1] には、非接触データが組み込まれており、これを読み込んで表示・保存する方法を紹介します。会議や講義の出席確認などにご活用下さい。

写真(A)： IC カード読み取りソフトでの待受の様子

主な読み取り可能項目

- ID 番号（職員番号・学生番号）
- 氏名（半角カナ）
- 再発行回数など

用意するもの

- **PC**
  Windows がインストールされているもの。持ち運べるノート PC を推奨。
- **非接触 IC カードリーダー**
  Sony 社製の PaSoRi など。
- **読み取りソフト vFCFdump**
  情報センター開発ソフト。情報センターのウェブサイト[2] からダウンロードしてください。

[1] **京都大学情報環境機構ウェブサイト**
ホーム > 提供サービス > 認証システム > 利用手続・規程類 > IC カードの種類
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/cert/use/type.html

[2] **情報センターウェブサイト**
ホーム > 提供サービス > 工学で利用できるソフトウェア > [学内]認証 IC カード/学生証の読み取り
http://www.cit.t.kyoto-u.ac.jp/ja/services/software/vFCFdump/

基本的な使い方

1. 非接触 IC カードリーダー（以下、カードリーダー）の取扱説明書を参照して、PC にドライバソフト等をインストールします。
2. 読み取り用ソフト vFCFdump を PC にインストールします。vFCFdump-1.1.zip（対象 OS: Windows Vista/7/8/8.1）を解凍し、vFCFdump フォルダ内の setup.exe を実行してください。
3. カードリーダーを PC に接続し、スタートメニュー から vFCFdump を起動します。
4. 開始ボタンを押すと読取を開始します。その状態でカードリーダーにカードをかざすと、内容が読み取られて一覧に表示されます。

5. 待受画面ボタンを押すと最初の写真(A)のような全画面の待受画面が表示されます。待受画面から通常画面に戻るには、キーボードの **Esc キー** を押します。
6. 停止ボタンを押すと読取が終了します。保存ボタンで結果を csv ファイルとして保存します。

各種設定について

メニューの 操作 - 設定 で各種の設定を行います。主に以下のような設定が可能です。

- **カードから読み取る項目**
  カードに記録されている情報のうち、どの項目を読み取るか選択します。
- **待受画面**
  待受画面のメッセージや色を設定します。
- **サウンド**
  カード読み取り時に出す音を設定します。

e-Learning の受講について

近年、教職員及び学生に対する教育、研修に web での研修素材(e-Learning)を利用する機会が増えてきました。2015 年 7 月現在、教職員に受講が義務付けられている e-Learning サイトをまとめます。これらは教職員ポータルサイト[3] の「業務リンク」メニューよりアクセスできます。いずれの教材も、資料の閲覧、上映のあと確認テストを受けることになります。このテストに合格することで受講完了となります。

情報セキュリティ関係

詳細は、京都大学情報環境機構ウェブサイト[4] においてまとめられています。

以下の教材のうち、該当するものを受講してください。基本的に毎年度の受講が必要です。

- **情報セキュリティ利用規則とセキュリティ**
  対象: 教職員及び学生(すべての京都大学構成員)
  コンピュータやインターネットを利用する際、情報セキュリティに関する基本的な注意事項をまとめたものです。
- **京都大学の情報格付け**
  対象: 教職員
  京都大学格付け基準の内容を解説したものです。
- **りんりん姫**
  対象: 学生
  コンピュータやインターネットを利用する際に注意すべき点を、情報倫理の観点よりまとめた内容です。

研究活動に関するコンプライアンス研修

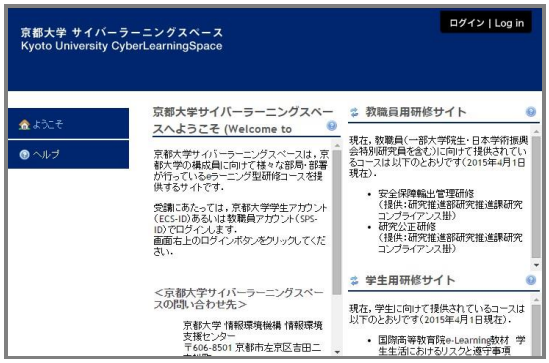
全学研究推進部より、研究活動のコンプライアンスに関する e-Learning 教材が提供されています。

研究費等の適正な使用について

対象: 教職員、及び競争的資金などを獲得する可能性のある学生、研究員等
受講方法: 京都大学 e-Learning 研修システム[5] にアクセスしてください。基本的に毎年度の受講が必要です。研究費の適切な利用について基本的な事項を確認する内容です。

研究公正研修

対象: 教職員、及び研究活動を行う研究員、学生
受講方法: 京都大学サイバーラーニングスペース[6] にログインし、「研究公正研修」サイトを選択してください。必要に応じて受講してください。



研究内容の剽窃、改ざん等、研究倫理に係る基本的な事項を取り上げています。

安全保障輸出管理研修

対象: 教職員、及び研究活動を行う研究員、学生
受講方法: 京都大学サイバーラーニングスペース[6] にログインし、「安全保障輸出管理研修」サイトを選択してください。必要に応じて受講してください。国外との物品移動(物品購入や実験装置の移動)、並びに人材交流の際に注意すべき内容をまとめたものです。

執筆：浅野 義直、青木 学聡

---

[3] **京都大学教職員ポータルサイト**
https://www.tam2.adm.kyoto-u.ac.jp/portal/wps/myportal

[4] **京都大学情報環境機構ウェブサイト**
ホーム > 提供サービス >情報セキュリティ >情報セキュリティ e-Learning
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/

[5] **京都大学 e-learning 研修システム**
http://kenkyu-tekisei-el.rp.kyoto-u.ac.jp/el/

[6] **京都大学サイバーラーニングスペース**
https://cls.iimc.kyoto-u.ac.jp/